

第2次三遠南信地域連携ビジョン（案）概要版

平成20年に策定した「三遠南信地域連携ビジョン」の計画期間の満了に伴い、2019年度以降の三遠南信地域の発展の方向性を明確に示すとともに、持続可能な地域づくりの指針となる「第2次三遠南信地域連携ビジョン」を策定します。

1 計画期間

12年間（2019年～2030年）

2 目指すべき地域像

（1）テーマ

三遠南信流域都市圏の創生 ～日本の県境連携先進モデル～

- ・三遠南信地域の住民がこの地域の持続的発展と自立のために、この地域を創生し、日本の県境連携を牽引します。

（2）目指すべき地域像

①大都市圏・世界と結ばれる広域連携都市圏の形成

首都圏や関西圏などの大都市圏、北陸圏との結びつきを強めるとともに、世界との交流・連携も見据えた広域連携都市圏の形成を目指します。

②中部圏での中核的都市圏の形成

中部圏の周辺地域との連携を図り、中核的都市圏として、産業や文化、人の多様なネットワークの構築を目指します。

③流域循環圏の形成

天竜川・豊川の上下流域の環境や経済をはじめ、広範な分野において、人、物、情報が循環する有機的なネットワークの構築を目指します。

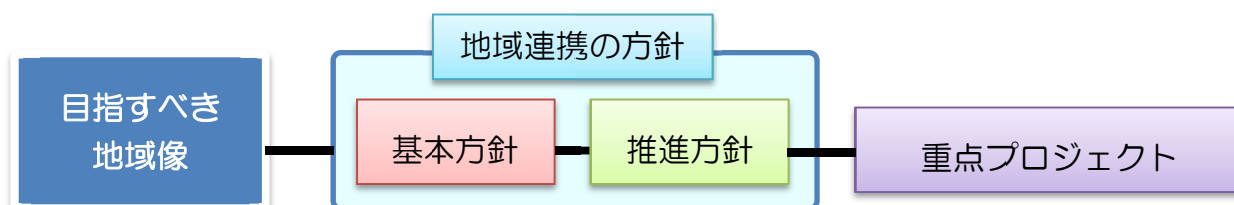
3 体系

（1）地域連携の方針

分野ごとの地域連携の考え方を定めます。

（2）重点プロジェクト

地域連携の方針のうち、重点的に推進するプロジェクトを定めます。



4 地域連携の方針

基本方針 1（道） 中部圏の中核的都市圏となる地域基盤の形成

地域内外の人・物・情報の交流を一層進めることで、中部圏の中核的都市圏となる地域基盤の形成を目指します。

【推進方針Ⅰ】 人と物の交流促進

【推進方針Ⅱ】 情報の交流促進

基本方針 2（技） 革新を取り込む産業創造圏の形成

地域内の産学官が連携し、既存産業の活力を増進させつつ、産業構造の転換を先取りすることで産業創造力を強化し、革新を取り込む産業創造圏の形成を目指します。

【推進方針Ⅰ】 既存産業の活力増進

【推進方針Ⅱ】 産業創造力の強化

基本方針 3（風土） 流域文化創造圏の形成

地域資源の新たな価値を見出し、保存・継承と活用・発信を行うことで、流域文化創造圏の形成を目指します。

【推進方針Ⅰ】 多様な地域資源を活かした 広域観光の推進

【推進方針Ⅱ】 地域固有の文化財や自然環境の保存と継承

基本方針 4（住） 安全安心な広域生活圏の形成

地域全体の生活環境を向上させるとともに、この地域に適した居住スタイルを確立し、安全安心な広域生活圏の形成を目指します。

【推進方針Ⅰ】 地域住民の安全安心の確保

【推進方針Ⅱ】 定住推進モデルの形成

基本方針 5（人） 地域の持続的発展に向けた人材集積地の形成

次世代を担う人材の育成や確保、多様な文化が共生する社会の形成を通じて、地域の持続的発展に向けた人材集積地の形成を目指します。

【推進方針Ⅰ】 次世代を担う人材育成・確保

【推進方針Ⅱ】 だれもが輝く地域づくり

5 重点プロジェクト

1 三遠南信交通ネットワーク形成プロジェクト

人や物の交流が活発になることで地域が一体的に発展していくために、この地域の交流を支える道路や公共交通の整備を促進する活動を行います。

2 三遠南信圏民の一体感醸成プロジェクト

地域住民の一体感の醸成と交流促進のため、地域内の様々な情報の蓄積・共有・発信を行います。

3 地域の稼ぐ力強化プロジェクト

地域内の産業創造力を強化するため、農産物などの販路拡大、新産業などの創出及び産業連携の促進に向けた活動を行います。

4 三遠南信探訪プロジェクト

多様な地域資源を活かした広域観光を推進するため、観光情報の発信、観光プログラムや周遊ルートの開発に取り組みます。

5 中山間地域が輝くプロジェクト

中山間地域相互や中山間地域と都市部との住民交流により、中山間地域が活性化する活動を行います。

6 住むなら三遠南信プロジェクト

地域における安心・安全で快適な生活環境を形成することで、移住者を呼び込むとともに、住民がいつまでも住み続けたいと感じる地域づくりを行います。

7 人生100年時代プロジェクト

人生100年時代を見据え、この地域の未来を担う人材の育成や定着のため、人材交流機会の創出・拡大や地域教育活動を促進します。

6 推進スケジュール

計画期間の12年間を、各期4年の3期に分け、各期の最終年度に重点プロジェクトの評価・見直しを行います。

	第Ⅰ期	第Ⅱ期	第Ⅲ期
年度	2019年～2022年	2023年～2026年	2027年～2030年
ビジョン			
重点プロジェクト		